

## 現地踏査

現地踏査は、防止工事の位置、工法及び規模等の決定のための基本であり、地形、地質、湧水、植生等に関して必ず現地踏査すること。

現地踏査における調査項目、その留意点については下記のとおりである。

## 1) 地形調査

- ・斜面形状、オーバーハングの有無、斜面勾配、集水範囲、斜面の向き、比高、斜面長のほか、斜面勾配の変換点を調査する。
- ・法面やそれに続く背後の自然斜面や台地面などにおける小さな沢地形、斜面上の細かいくぼみ、背後地の地形や土地利用とそこからの降雨時の表面水の流路など微地形に関わる集水状況及び流下経路を調査する。
- ・斜面部の崩土や崖錐、削り残しの段丘や地すべり土塊、凍上等による表面近くの土層の緩み等、未固結の堆積物の分布状態及び岩の露頭や浮き石の有無等を調査する。
- ・道路の路面やのり面、斜面近傍の構造物等の変状を調査する。

## 2) 地質調査

- ・斜面周辺の微地形、近隣の崩壊地ですべった地層の境界面を調査する。
- ・異方性のつよい岩盤の斜面では、地層の走向・傾斜を計測し、流れ盤か受け盤かを判断する。
- ・露頭では風化の程度、硬さ、雨滴侵食、流水による侵食に対する抵抗度、断層の正確な位置と状態、弱層の位置、岩の割目の状態、土層・地層の境界等を調査する。二つ以上の地層があれば、その境界面が斜面のどこに表れるか、またそれが地形的な境界（例えば傾斜変換点）として表れているかどうかを調べる。
- ・表土層、崖錐、強風化層の規模と分布を調べる。

## 3) 湧水調査

- ・湧水の箇所及び量を調査し、斜面を含む区域内で三次元的にとらえ、表土の下の基盤の谷地形あるいは断層・破碎帯の位置、延長方向等の関係を検討する。

## 4) 植生調査

- ・樹種、分布、密度、樹木の曲りを調べる。
- ・植林の場合は経営目的のためか治山のためか、伐採を最近行ったかを調べる。

## 5) その他の調査事項

## (i) 浸透水の浸み出し

- ・基盤と表土層の境界面の勾配、境界面での降雨時の浸透水の浸み出しの有無等を調べる。

## (ii) 斜面の改変

- ・盛土、切土、流路変更等の斜面を変える行為があるかどうか、その位置、規模、施工時期等を調べる。また、これらの目的が危険防止のためのものか土地利用のためかを調べる。

## (iii) 防災工事

- ・既往の防災工事の種類、施工時期、位置、安定度及び斜面上に変状が表れていないか、防災工事を施さねばならなかった本質的な原因がどこにあった等を調査する。